

SB6X プログラム V2.0 の注意事項

2018年7月2日

株式会社サイン・ハウス

2018年7月2日リリースの「SB6X V2.0 アップデート」に関しての、ご注意点をまとめました。基本的に V2.0 対応版のユーザーズマニュアルや、B+COM U にてご覧頂ける内容と共通していますが、B+COM を快適にご利用頂くため、ぜひご確認くださいませ。

●新機能『B+COM オーディオシェア』

【モード共通】

- ・インカム通話を終了すると、オーディオシェアも終了します。通話再開時には、再度シェア開始の操作を行ってください。

【タンデムモード(ステレオ音声)】

- ・SB6X (V2.0 以降)同士でのみ機能をご利用頂けます。
- ・2名でのタンデム走行を想定した機能です。3台以上のグループでタンデムモードはご利用頂けません。
- ・ライダー同士では実用上ご利用頂けません。シェアするオーディオの最大通信距離は約 10m です。

【グループモード(モノラル音声)】

- ・音質はインカム通話の状態に左右されるため、通話人数が増えたり、通信距離が離れたりするにつれて、音質は劣化する傾向にあります。
- ・グループモードではカーナビ / バイクレーダー音声の利用をおすすめします。もちろん、音楽をシェアすることも可能ですが、AM ラジオのようなモノラル音質となることをご了承ください。

★以下の機能は、B+COM U からの設定が必要です。(SB6X 単体での変更は出来ません。)

●セルフネーム機能

デバイスで Bluetooth 機器を検索した際に、デバイス画面上で表示される B+COM の名称を変更できます。

■初期設定：「B+COM6 V○.○」(○はバージョン名の数字)

- ・使用できる最大入力文字数は「半角英数で 12 文字まで」です。
- ・表示名を変更した後も、B+COM U へ B+COM を接続することでバージョンが確認出来ます。
- ・「初期設定に戻す」ボタンを押すと、名前もリセットされます。
- ・バージョンの判別がしやすいよう、表示名の末尾にバージョン名を付けることをおすすめします。

⇒[変更後に行うこと]

名前変更後は、SB6X のオールリセット実施、およびデバイス側に残っている登録情報を削除し、デバイスを再起動してから再ペアリングを行ってください。

●音声ガイダンス・ビープ音調整機能

本体の動作状態をお知らせするビープ音、音声ガイダンスの音量を変更できます。

■初期設定：「MAX」

- ・最小(MIN)から最大(MAX)の音量まで、3段階に調節が可能です。

⇒[変更後に行うこと]

変更後、B+COM はそのままお使い頂けます。

●新・ユニバーサルインターコール機能

接続相手のインカムがユニバーサル接続機能を持たない場合に使用することで、理論上の接続・通話が可能となる機能です。

■初期設定：「OFF」

【ユニバーサルインターコールを「ON」にした場合】
ユニバーサル接続機能を持たないインカムとも、理論上の接続が可能となります。
(例)B+COM SB213.EVO、一部他社製インカムなど

【！】ご注意ください

一部のインカムへのユニバーサルインターコール・レシーブ機能が使用できなくなります。
(例)B+COM SB5X、一部他社製インカムなど

- ・SB5X と接続時は「OFF」にして、SB6X のユニバーサルインターコール・レシーブ機能で接続してください。
- ・ユニバーサル接続機能を持たないインカムと接続する場合のみ、「ON」にしてください。
- ・他社製インカムとの動作保証は致しておりません。

⇒[変更後に行うこと]

本機能をオン・オフ変更後は、インカム登録情報がリセットされます。必ず接続相手側もリセットを行い、再ペアリングを実施してください。

●ホンダ 新型ゴールドウィングに快適対応

B+COM は多様なデバイスに対応するため、AVRCP だけでなく A2DP による制御を行っています。一部の車載 Bluetooth オーディオユニットでは、AVRCP のみで制御を行っているため、B+COM からの A2DP 信号を正常に処理できず、オーディオに復帰できない等の問題が発生する場合があります。

上記の問題は、本機能を OFF にすることで回避できます。

※車体側の仕様変更などにより、今後の動作が異なる可能性があります。

■初期設定：「ON」

- ホンダ 新型ゴールドウィング(2BL-SC79)に対応する場合、「A2DP による制御」を『OFF』にしてください。

【A2DP による制御を「OFF」にした場合】
ホンダ 新型ゴールドウィング搭載の Bluetooth オーディオユニットなどとの接続時、車両側操作がスムーズになります。

【A2DP による制御を「ON」にした場合】
バイク用ナビやレーダー、トランスミッターなど、AVRCP 機能を持たないデバイスに対応します。
"デバイス割り込みアシスト機能"を使って 2 台のデバイスを同時に運用する場合はこちらです。

⇒[変更後に行うこと]

変更後、B+COM はそのままお使い頂けます。

【！】ご確認ください (2018/7/25 追記)

B+COM デュアルオーディオトランスミッターや一部デバイスとの接続中、他デバイスからの音声割り込み（ナビ・レーダー音声及び電話着信）があった後、B+COM の電源が落ちる現象を確認しています。

この現象は、B+COM U 上で「A2DP による制御」を『OFF』にする事により回避できる可能性がございます。

- A2DP による制御を「OFF」にした場合

→デュアルオーディオトランスミッターの音声ミュート/再生ができなくなります。

尚、この問題につきましては、次回以降のアップデートにて修正予定です。



www.bolt.co.jp

〒158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布2-9-14
TEL: 03-5483-1711 FAX: 03-5483-1712